

別添3

特定器材マスターファイル仕様の変更

1 項番27の後に、項番28「変更年月日」、同29「経過措置年月日」、同30「廃止年月日」、同31「別表番号」、同32「区分番号」及び同33「DPC適用区分」を追加。

項番	項目名	形式			内容
		モード	最大 バイト	項目 形式	
28	変更年月日	数字	8	固定	マスターの情報を変更した日付を西暦年4桁、月2桁及び日2桁の8桁で表す。
29	経過措置年月日	数字	8	固定	当該特定器材の経過措置年月日を西暦年4桁、月2桁及び日2桁の8桁で表す。 なお、経過措置でない場合は「00000000」である。
30	廃止年月日	数字	8	固定	当該特定器材の使用が可能な最終日付を西暦年4桁、月2桁及び日2桁の8桁で表す。 なお、廃止特定器材でない場合は「99999999」である。
31	告示番号				特定保険医療材料及びその材料価格（材料価格基準）に基づき付番する。 なお、材料価格基準に基づかないもの（酸素等）は「0」である。
	別表番号	数字	2	可変	
	区分番号	数字	3	可変	
33	DPC適用区分	数字	1	固定	当該特定器材が診断群分類（DPC）点数表の所定点数に含まれるか否かを表す。 0：DPC点数表に含まれる特定器材（包括評価対象） 1：出来高部分で算定可能な特定器材

2 項番34～同36として「予備」を追加。

項番	項目名	形式			内容
		モード	最大 バイト	項目 形式	
34	予備	英数	10	可変	未使用：省略
35	予備	英数	10	可変	未使用：省略
36	予備	英数	10	可変	未使用：省略

3 項番22「特定器材種別(1)」の内容「3:購入価格/70円」を「購入価格/50円」に変更。

項番	項目名	形式			内容
		モード	最大 バイト	項目 形式	
22	特定器材種別(1)	数字	1	固定	<p>点数算定方法の種別を表す。</p> <p>0: <math>\begin{matrix} \uparrow \\ \text{購入価格} \\ \downarrow \\ 10円 \end{matrix} \begin{matrix} \uparrow \\ \\ \downarrow \end{matrix}</math> により算定する特定器材</p> <p>2: <math>\begin{matrix} \uparrow \\ \updownarrow \\ \downarrow \end{matrix} \begin{matrix} \text{購入価格} \\ \\ \\ \end{matrix} \begin{matrix} \updownarrow \\ \\ \downarrow \end{matrix} \begin{matrix} \uparrow \\ \\ \downarrow \end{matrix}</math> により算定する特定器材 (酸素、窒素)</p> <p>3: <math>\begin{matrix} \uparrow \\ \text{購入価格} \\ \downarrow \\ \text{70円} \\ 50円 \end{matrix} \begin{matrix} \uparrow \\ \\ \downarrow \end{matrix}</math> により算定する特定器材 (高線量率イリジウム)</p> <p style="text-align: right;"><math>\updownarrow</math>: 四捨五入</p>